九州地方（農業）

ポイント　農業

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

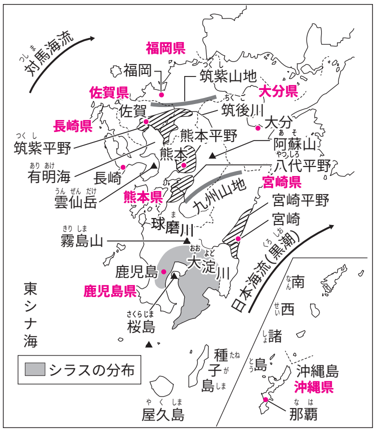
① 九州北部の農業

稲作：＿筑紫平野＿は代表的な稲作地帯であり，米と小麦・大麦を栽培する

＿二毛作＿もさかん

ビニールハウスを利用したいちごの栽培など，福岡市に向けた近郊農業がさかん

資料1　九州地方



② 九州南部の農業

＿促成栽培＿：九州南部は冬でも温暖な気候なため，ビニールハウスや温室を利用して施設園芸農業を行う

※他の地域よりも出荷時期を早めることができる

資料2　ビニールハウス

＿宮崎平野＿ではきゅうり，ピーマン，温室マンゴーなどを栽培

＿シラス台地＿：火山灰が厚く積もった台地

シラスは軽くて水を通しやすいため水はけがよい

資料3　シラス台地

↓

稲作には向かないため，畑作や＿畜産＿がさかん

畑作：＿さつまいも＿，＿茶＿，野菜など

畜産：肉用牛，豚，肉用若鶏など＿地域ブランド＿の確立に取り組む

【例】「宮崎牛」「みやざき地頭鶏（じとっこ）」（宮崎県）

「かごしま黒豚」（鹿児島県）

③ 南西諸島（なんせいしょとう）の農業

温暖な気候を生かした＿さとうきび＿や＿パイナップル＿などの栽培

資料4 さとうきび（沖縄県）

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 九州北部にある代表的な稲作地帯であり，米と小麦・大麦を栽培する二毛作がさかんな平野はどこか。　筑紫平野

(2) 冬でも温暖な気候を利用し，きゅうり，ピーマン，温室マンゴーなどの栽培がさかんな九州南東部の平野はどこか。　宮崎平野

(3) 冬でも温暖な気候を利用し，出荷時期を早めることを何栽培というか。　促成栽培

(4) ビニールハウスや温室などの施設を用いて行われる農業を何農業というか。　施設園芸農業

(5) 南西諸島で温暖な気候を生かした栽培がさかんなのは，パイナップルと何か。　さとうきび